

みずほCustomer Desk Report 2024/05/24号 (As of 2024/05/23)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	156.93
TKY 9:00AM	156.75	1.0826	169.73	GBP/USD	1.2720
SYD-NY High	157.19	1.0861	170.25	AUD/USD	0.6618
SYD-NY Low	156.53	1.0805	169.38		
NY 5:00 PM	156.98	1.0816	169.72		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,065.26	▲ 605.78	日本2年債	0.3400%	0.0000%
NASDAQ	16,736.03	▲ 65.51	日本10年債	1.0000%	0.0000%
S&P	5,267.84	▲ 39.17	米国2年債	4.9385%	0.0642%
日経平均	39,103.22	486.12	米国5年債	4.5306%	0.0647%
TOPIX	2,754.75	17.39	米国10年債	4.4777%	0.0530%
シカゴ日経先物	38,570.00	▲ 80.00	独10年債	2.5985%	0.0670%
ロンドンFT	8,339.23	▲ 31.10	米10年債	4.2570%	0.0240%
DAX	18,691.32	11.12	豪10年債	4.2680%	0.0240%
ハンセン指数	18,868.71	▲ 326.89	USDJPY 1M Vol	8.48%	▲0.05%
上海総合	3,116.39	▲ 42.15	USDJPY 3M Vol	8.70%	0.08%
NY金	2,337.20	▲ 55.70	USDJPY 6M Vol	9.12%	0.11%
WTI	76.87	▲ 0.70	USDJPY 1M 25RR	▲1.13%	Yen Call Over
CRB指数	293.78	▲ 1.47	EURJPY 3M Vol	8.19%	0.02%
ドルインデックス	105.11	0.17	EURJPY 6M Vol	8.69%	0.07%

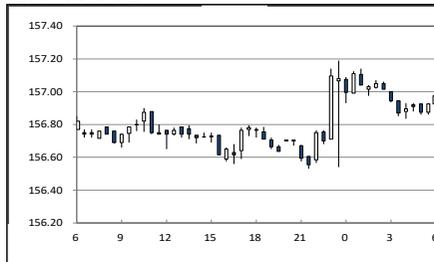
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月23日	16:30	独 製造業PMI・速報	5月 45.4	43.5
	17:00	欧 製造業PMI・速報	5月 47.4	46.1
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	4月 -0.23	0.13
	21:30	米 新規失業保険申請件数	18-May 215k	220k
	22:45	米 製造業PMI・速報	5月 50.9	49.9
	22:45	米 サービス業PMI・速報	5月 54.8	51.2
	23:00	欧 消費者信頼感・速報	5月 -14.3	-14.2
	23:00	米 新築住宅販売件数	4月 634k	678k

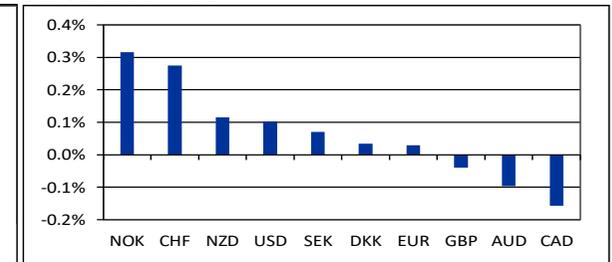
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月24日	08:30	日 全国CPI	4月 2.4%	2.7%
	08:30	日 全国コアCPI	4月 2.2%	2.6%
	08:30	日 全国コアコアCPI	4月 2.4%	2.9%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	4月 -0.8%	0.9%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	4月 0.1%	0.0%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	5月 67.7	67.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	156.30-157.80	1.0750-1.0850	169.30-170.80

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は一時約3週間ぶりとなる157円台まで上昇した。発表された米5月製造業・非製造業PMIがともに予想を上回る好結果となったことで、Fedによる早期利下げ観測は後退。9月会合での利下げ織り込みは5割強にまで低下した。Fed高官の発言は米経済の底堅さが続いていること、さらにインフレ警戒と早期利下げ開始に慎重な姿勢が目立っている。本日は米ウォラ―理事FRB理事の講演が予定されているほか、米5月ミシガン大学消費者マインド指数が発表される。強い結果となった場合は昨日同様ドル買いが継続すると予想する。ただし、ゴールデンウィーク中にドル円が急落した水準に近づいており、介入警戒感から徐々にドル円の上値も重くなりそうだ。さらに、来週月曜日はロンドンと米国が休場となるため、ポジションを大きく傾ける動きとはならないと見ており、ドル円が急上昇する展開とはならないだろう。

東京	156.75レベルでオープンしたドル円は仲値にかけて堅調に推移し、日銀が国債買い入れペースを減額しないことが確認されるとコンセンサス通りではあったものの、為替は催促相場的に東京高値である156.90まで買われる。ただ、介入警戒もある中で高値での滞空時間は短く、すぐに押し返される展開。終盤には156.62の東京安値まで押した後、156.63レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、156.63レベルでオープン。特段の材料がない中、方向感なく推移し、結局156.61レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0826レベルでオープン。独5月PMI速報値並びにユーロ圏5月速報値が大方予想を上回り、1.0852まで堅調に推移。またユーロ圏1-3月期妥結賃金が前年同期比4.7%と前四半期から加速したことも上昇を支え、結局1.0851レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は156円台後半でスタート。156.90まで上昇する場面もあったが、157円台での為替介入への警戒感からか、その後は一転軟調な値動きとなり、156.61レベルでNYオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数が予想を下回ると、市場はドル買いで反応。続いて発表された米5月S&Pグローバル米製造業PMIとサービス業PMIが共に予想を上回ると、一段とドル買いが強まり、157.19まで上伸。その後156.54まで瞬時に下落する場面もあったが、直後に157円台ちょうど付近まで戻す。午後は買い一巡となり、156.90近辺まで小幅反落し、156.98レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。独5月HCOB製造業とサービス業PMIが予想を上回った事を受け、ユーロ買いが優勢となり、1.0851レベルでNYオープン。午前中は1.0861まで上昇するも、その後には予想より強い米5月製造業PMIの結果を受け、ドルが買われる中、1.0820付近まで反落。午後米金利高の展開を受け、1.0805まで値を下げる。その後は小幅反発し、1.0816レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。